昨年度完成した工事、業務を対象とした
優良工事等表彰式を開催しました

高山国道事務所では７月２６日（金）、昨年度完成した工事・業務を対象に優良工事等の表彰式を開催しました。

今年度の表彰対象の例としては、縦断勾配のあるボックスカルバート施工においてコンクリート打設等に積極的な創意工夫が提案され、品質を確保しながら優れた成果をあげた工事、豪雨における初動対応の迅速さや日常の維持管理等においても緊急体制が取れるよう人員を確保し、迅速且つ適切に実施した工事、トンネルの施工について園児、学生、地域住民等幅広に説明会を行うなど社会に貢献した工事など、他の企業の模範となる取り組みを実施した企業及び技術者を総合的に評価しました。また、表彰対象工事において、専門性を発揮し、工事完成に貢献された協力企業及び技術者等も表彰しました。

この他、７月２２日（月）に名古屋で行われた中部地方整備局長表彰の受賞者もご出席いただき、ご紹介させていただきました。その後、事務所関係者と受賞者との間で、工事や業務実施時における工夫や苦労した事、社会貢献等に関して意見交換会を行い、記念撮影をしました。

なおこの表彰式は、成績等が優秀で顕著な功績を収めた企業並びに技術者を称えるとともに、建設分野の活力の増進と技術の発展を図ることを目的に、毎年実施しているものです。

令和元年度　優良工事等表彰一覧

部門		会社名又は個人名	工事名又は業務名
局長表彰	優良工事	大山土木株式会社	平成２９年度　中部縦貫町方道路建設工事
	優良工事技術者	大山土木株式会社　溝上 貴裕（監理技術者）	平成２９年度　中部縦貫町方道路建設工事
	優良業務	大日コンサルタント株式会社	平成２９年度　下呂地域橋梁予備設計業務
	優良業務技術者	大日コンサルタント株式会社　町　勉（担当技術者）	平成２９年度　下呂地域橋梁予備設計業務
事務所長表彰	優良工事	坂本土木株式会社	平成２９年度　神岡管内維持修繕工事
		日産工業株式会社	平成２８年度　４１号下呂維持管内維持修繕工事
		金子工業株式会社	平成２９年度　高山管内維持修繕工事
		株式会社讃建	平成２９年度　４１号下呂防災対策工事
		株式会社新井組	平成２９年度　中部縦貫東ヶ洞道路建設工事
	優良工事技術者	坂本土木株式会社　高野 幸一（現場代理人）	平成２９年度　神岡管内維持修繕工事
		日産工業株式会社　中島 宏弥（監理技術者）	平成２８年度　４１号下呂維持管内維持修繕工事
		金子工業株式会社　今井 宏和（現場代理人）	平成２９年度　高山管内維持修繕工事
	優良業務	一般社団法人パブリックサービス	平成２８年度　高山国道道路管理・特殊車両事務業務
		応用地質株式会社 中部事務所	平成２９年度　高山国道事務所管内地質調査業務
		大日コンサルタント株式会社	平成３０年度　高山国道事務所用地関係資料作成整理等業務
	優良業務技術者	応用地質株式会社 中部事務所　中嶋 勲雄（主任技術者）	平成２９年度　高山国道事務所管内地質調査業務
	社会貢献	前田建設工業株式会社 中部支店	平成２７年度　中部縦貫上野トンネル工事
	関係協力企業	株式会社森下建設	平成２９年度　中部縦貫町方道路建設工事
			平成２９年度　高山管内維持修繕工事
		有限会社井根鉄筋	平成２９年度　中部縦貫町方道路建設工事
		株式会社技研ユニティ	平成２９年度　中部縦貫町方道路建設工事
		株式会社鉞組	平成２９年度　中部縦貫町方道路建設工事
			平成２９年度　４１号下呂防災対策工事
		株式会社サンロード	平成２９年度　神岡管内維持修繕工事
		篠田株式会社	平成２９年度　神岡管内維持修繕工事
			平成２９年度　中部縦貫東ヶ洞道路建設工事
		株式会社オクダ技巧	平成２８年度　４１号下呂維持管内維持修繕工事
		株式会社地建防災	平成２８年度　４１号下呂維持管内維持修繕工事
			平成２９年度　４１号下呂防災対策工事
		桂川工務店	平成２９年度　高山管内維持修繕工事
		有限会社マルトモ建材	平成２９年度　高山管内維持修繕工事
		向畑技建株式会社	平成２９年度　中部縦貫東ヶ洞道路建設工事
		海道建設株式会社	平成２９年度　中部縦貫東ヶ洞道路建設工事
		株式会社長瀬土建	平成２９年度　中部縦貫東ヶ洞道路建設工事
	関係協力企業専任技術者	株式会社地建防災　杉浦 雄章（主任技術者）	平成２９年度　４１号下呂防災対策工事
		海道建設株式会社　佐藤 正春（主任技術者）	平成２７年度　中部縦貫上野トンネル工事
		株式会社長瀬土建　田口 博史（主任技術者）	平成２７年度　中部縦貫上野トンネル工事
	関係協力企業有能技能者	株式会社鉞組　村上 洋紀（有能技能者）	平成２９年度　４１号下呂防災対策工事

受賞された皆さん（工事及び業務ごと）

監督職員らと記念撮影

平成29年度　中部縦貫町方道路建設工事

平成29年度　下呂地域橋梁予備設計業務
平成30年度　高山国道事務所用地関係資料作成整理等業務

平成29年度　神岡管内維持修繕工事

平成28年度　４１号下呂維持管内維持修繕工事

平成29年度　高山管内維持修繕工事

平成29年度　４１号下呂防災対策工事

平成29年度　中部縦貫東ヶ洞道路建設工事

平成28年度　高山国道道路管理・特殊車両事務業務

平成29年度　高山国道事務所管内地質調査業務

平成27年度　中部縦貫上野トンネル工事

表彰式及び意見交換会の様子

路上被災者支援協定　締結式

平成２９年度台風２１号 車両滞留の様子

　吉ヶ原と猪谷の雨量規制区間に挟まれ、一時的に移動が困難となった道路利用者に、『谷・中山区』の皆様が炊きだし等の支援を行ってくださいました。

平成２９年度　谷・中山区 『感謝状伝達式』

　道路利用者への献身的な支援活動に感謝の意を表し、高山国道事務所および富山河川国道事務所から感謝状を贈呈いたしました。

令和元年度　谷・中山区 『路上被災者支援協定　締結式』

　平成30年7月豪雨から1年を機に、国・市・地元自治会による『路上被災者支援協定』を結びました。
　谷・中山区の支援活動に対して、国は保険費用の負担を、飛騨市は飲食物等の提供を行います。

路上被災者支援協定 『中部地整では初の試み』

　谷・中山区の活動を支援するため、この協定を締結しました。
　災害の被害を少しでも減らすために、地元一体となって災害に備えます。

～ 平成30年7月豪雨 災害復旧 ～
三位一体による災害復旧事業説明会

平成30年７月豪雨から１年経過し、飛騨地方でもっとも大きな土砂災害となった飛騨市古川町数河（すごう）地内において、国土交通省・岐阜県・飛騨市の三者による災害復旧事業説明会を開催しました。

令和元年７月２８日（日）
１３：３０～１４：３０
参加者：数河地区住民８名
説明者：高山国道事務所
岐阜県飛騨農林事務所
飛騨市

土砂災害発生時の状況、応急復旧、国土交通省による土砂流出防止柵の施工完了状況等をパネルで説明しました。

岐阜県や飛騨市の担当者も治山災害復旧工事現場を背景に治山・農地災害復旧についてパネルで事業説明を行いました。

ドローンで数河地区災害復旧現場全体を飛行させ、空撮ライヴ映像を住民の方々に観覧していただきながら事業説明を行いました。

数河地区の平野区長は、「今回の災害を経験し地域の防災の意識が高まった。また、ドローンによる上空からの映像がわかり易かった。残りの工事も安全に確実に進めてもらいたい。」と感想を述べられました。

中部地方整備局

R1.7.31

災害対策用機械操作訓練

災害対策用機械操作訓練

高山国道事務所では、7月31日に飛騨三協防災対策協議会と災害対策用機械の操作訓練を行いました。台風シーズンの到来を前に様々な機械の操作技術の習得を図りました。

照明車

平成３０年７月豪雨では大きな被害がありました。照明車は現場を照らし続け、昼夜を問わない復旧作業を可能にしました。

１０メートルも伸びます！

待機支援車

内装はこんな感じです！

ベッド、トイレ、シンクなどがあり派遣職員の現地での生活をバックアップします。また、発電機も内蔵されており、電源施設としても運用できます。

散水車

一分間にドラム缶約２．５本分の水を排水します。

Ku-SAT

通信衛星を介して、映像の送受信や通話が可能です。

飛騨高山高校　オープンキャンパス

飛騨地域の将来を担う土木技術者へ！！

飛騨地域の中学生を対象とした飛騨高山高校オープンキャンパスが開催されました。

今回、高山国道事務所や社会基盤メンテナンスエキスパート、飛騨三協防災対策協議会も協同参画、将来の土木技術者育成を目指して土木技術の魅力・建設新技術を紹介しました。

○飛騨地域の中学生に土木や防災等に
　興味・関心をもってもらう
○土木技術の進化

環境科学科の学習の紹介
飛騨地域地場での土木技術者育成を目指す

参加中学生にドローンの飛行操縦を体験、興味をもってもらいながら、ＵＡＶによる３次元測量技術やレーザースキャナー技術の建設ＩＣＴを紹介しました。

建設ＩＣＴ　(Information and Communication Technology)
調査・設計・施工・維持管理・修繕の一連の建設生産システムにおいて、効率化・高度化による生産性向上に寄与する情報通信技術

～飛騨地域の将来を担う技術者へ～

飛騨高山高校でメンテナンス学習を開催!!

道路インフラの老朽化が進む現状に立ち向かうため、飛騨地域で日ごろ土木等の勉強をしている飛騨高山高校の生徒と飛騨地域の社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）が取り組んでいる課題研究。

昨年度より高山国道事務所も協同参加しメンテナンス学習を開催、今年度も将来の技術者へメンテナンスの必要性を実習を通して伝えました。

【 概要 】

日　時：令和元年7月30日（火）
　　11：00～15：00

場　所：国道41号　石浦（いしうら）高架橋、阿矢谷（あやたに）橋
　　（岐阜県高山市石浦町地内）

参加者：岐阜県立飛騨高山高等学校
　　環境科学科　3年生
　　課題研究専攻・土木コース　　11名

【 昨年度から開催した経緯・ねらい 】

・道路インフラはメンテナンスの時代を迎えている
・日ごろ土木等の勉強をしている生徒に、メンテナンス学習を通してメンテナンスの必要性を理解してもらう
・飛騨地域の将来を担う技術者になってほしい

【 工夫した点 】

・高所作業車に乗車・点検器具を用いて、点検実務を体験してもらう

●開催の様子

座学：メンテナンスについて学習

現場実習：橋梁下面 コンクリートのひびわれ幅を計測

●参加生徒の感想

・日常的に利用している橋が日々メンテナンスされていることをはじめて学んだ
・座学では実際の損傷写真があり、分かりやすかった
・これから腐食していく可能性があるなど、先を考えて点検することが大切であることが分かった

⇒多くの生徒がインフラのメンテナンスに興味を持ってくれたことがわかりました。
メンテナンス学習開催のねらいを達成いたしました！

編集・発行　中部地方整備局　**高山国道事務所**　〒506-0055　高山市上岡本町7丁目425番地
TEL　(0577)36-3822　FAX (0577)36-3801　URL http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/

令和 元 年 8 月21日発行
担当：計画課